

平成28年度保育所等利用判定基準表

選考指数は、基本指数 + 調整指数 の合計となります。
 基本指数は、どれか一つが適用され、父親か母親のどちらか低い方となります。
 調整指数は、児童や保護者の状況、家庭の状況により該当のものすべてが適用となります。

基本指数

No	類型	中分類	小分類	保育の必要量	指数
1	居宅外労働	常勤・パート	月20日以上、日7時間以上(2箇所の場合140時間以上)	保育標準時間	30
2	居宅外労働	常勤・パート	月20日以上、日6時間以上(2箇所の場合120時間以上)	保育標準時間	28
3	居宅外労働	常勤・パート	月20日以上、日5時間以上(2箇所の場合100時間以上)	保育短時間	26
4	居宅外労働	常勤・パート	月15日以上、日6時間以上(2箇所の場合90時間以上)	保育短時間	22
5	居宅外労働	常勤・パート	月15日以上、日5時間以上(2箇所の場合75時間以上)	保育短時間	20
6	居宅外労働	常勤・パート	月15日以上、日4時間以上(2箇所の場合60時間以上)	保育短時間	18
7	居宅外労働	自営業	月20日以上、日7時間以上	保育標準時間	25
8	居宅外労働	自営業	月20日以上、日6時間	保育標準時間	20
9	居宅外労働	自営業	月20日以上、日5時間以上	保育短時間	18
10	居宅外労働	自営業	月15日以上、日4時間以上	保育短時間	10
15	居宅外労働	農業	月20日以上、日7時間以上	保育標準時間	20
16	居宅外労働	農業	月20日以上、日6時間	保育標準時間	15
17	居宅外労働	農業	月20日以上、日5時間	保育短時間	13
18	居宅外労働	農業	月15日以上、日4時間以上	保育短時間	10
23	居宅内労働	自営業	月20日以上、日7時間以上	保育標準時間	21
24	居宅内労働	自営業	月20日以上、日6時間	保育標準時間	19
25	居宅内労働	自営業	月20日以上、日5時間	保育短時間	15
26	居宅内労働	自営業	月15日以上、日4時間以上	保育短時間	8
19	居宅内労働	内職	月20日以上、日7時間以上	保育標準時間	14
20	居宅内労働	内職	月20日以上、日6時間	保育標準時間	12
21	居宅内労働	内職	月20日以上、日5時間	保育短時間	10
22	居宅内労働	内職	月15日以上、日4時間以上	保育短時間	5
27	居宅内労働	農業	専業農家	保育標準時間	25
28	居宅内労働	農業	兼業農家	保育標準時間	15
11	就学	就学	生活手段を理由とした就学(職業技術校などで120時間以上)	保育標準時間	15
12	就学	就学	生活手段を理由とした就学(職業技術校などで60～120時間未満)	保育短時間	8
13	就学	就学	一般学生(120時間以上)	保育標準時間	2
14	就学	就学	一般学生(60～120時間未満)	保育短時間	1
29	母親の出産	出産	出産月とその前後3ヶ月ずつ(合計7ヶ月)	保育標準時間	30
30	疾病・負傷等	入院	入院見込期間が1ヶ月以上	保育標準時間	30
31	疾病・負傷等	入院	入院見込期間が1ヶ月未満	保育標準時間	26
32	疾病・負傷等	常時臥床	常時臥床	保育標準時間	30
33	疾病・負傷等	心身障害	重度の障害者(身体障害1、2級程度)	保育標準時間	30
34	疾病・負傷等	心身障害	中度の障害者(身体障害3、4級程度)	保育標準時間	15
35	疾病・負傷等	自宅療養	週3回以上の通院	保育標準時間	20
36	疾病・負傷等	自宅療養	10日に1回以上の通院	保育標準時間	4
37	疾病・負傷等	自宅療養	月2回の通院	保育標準時間	2
38	病人の看護等	入院付添い	入院付添い(常時)	保育標準時間	25
39	病人の看護等	入院付添い	入院付添い(週3回以上)	保育標準時間	15
40	病人の看護等	心身障害	看護対象者が重度障害者(身体障害1、2級程度)	保育標準時間	25
41	病人の看護等	心身障害	看護対象者が中度障害者(身体障害3、4級程度)	保育標準時間	7
42	病人の看護等	常時臥床	常時介護	保育標準時間	25
43	病人の看護等	常時臥床	週3回以上の介護	保育標準時間	15
44	病人の看護等	自宅療養	週5回以上通院に付添う	保育標準時間	18
45	病人の看護等	自宅療養	週3回以上5回未満通院に付添う	保育標準時間	10
46	家庭の災害	家庭の災害	火災等による居宅の破損・復旧	保育標準時間	30
47	求職中	求職中	就労先を探している	保育短時間	0
48	求職中	求職中	保育所入所後探す・現在、探していない	保育短時間	0
49	求職中	求職中	ひとり親の場合で、保護者が求職中	保育短時間	15
50	転園	転園	転園	保育標準時間	0
51	虐待・DV	虐待・DV	虐待・DV	保育標準時間	30

調整指数

NO	項目	指数
1	母親、父親の不在(離婚、離婚調定、死亡、失踪、未婚)	5
2	母親、父親の不在(離婚を前提とした別居)	4
3	産休、育児休暇明けの職場復帰(介護休暇も含む)	10
4	在園中の児童が既にいる	3
5	兄弟で申請中の場合	1
6	児童が障害児(身体・知的)の場合(同居兄弟含)	5
7	私設保育施設(届出保育施設)を利用中	3
8	小田原市民で、市内に祖父母が居住していない	5
9	疾病・負傷等・病人の看護等で対象者が「精神性疾患」	3
10	生活保護世帯	10
19	児童相談所から要保護児童である旨の通知を受けている	10
20	やむを得ない理由による転園(転居・勤務先変更・兄弟同一園を希望する転園)	18
21	保育料を過去に6ヵ月以上滞納している(6ヵ月単位で減点)	-3
22	入所が内定した後、やむを得ない理由なく辞退(内定辞退後、入所が決定するまで適用)	-3
23	出産に伴い退所し、育児(介護)休暇明けの職場復帰で元の園を希望(退所した園のみ適用)	20
24	保護者が小田原市内の認可保育所等に勤務している(認可外及び市外保育所は対象外)	10
25	小規模保育事業を卒園で、連携施設以外の保育所を希望	5
18	保育所閉園による転園希望	50
12	保育所入所(入所希望)児童以外の就学前児童が、保育所に入所(入所希望)していない。	-5
13	「保育要件」を確認する書類が「未提出」(税額資料は別扱いとする)	-30
14	小田原市外居住者	-5
16	求職中で就労先が内定	-2